

元気で長生き応援団

# よっせ

第 141号 2015年 12月 9日 (水)

発行

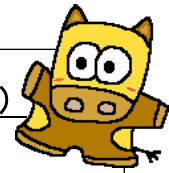
NPOライフケア浜松 ☎ 053-426-0691

浜松市南区恩地町 263

(株)LCウェルネス

デイホーム・ここ倶楽部 ☎ 053-427-3244

浜松市南区恩地町 263



たそがれ

季節は冬ですが、秋と同様、釣瓶のように、あつというまに陽が落ちます。その落陽の時を表す黄昏というのはい言葉です。自分もたそがれ時を迎えているので、よけいに共感を誘うのでしようか。

先日、ラジオで「誰そ彼」、彼は誰？薄暗くなつて、道行く人がだれか識別できない、ということから生まれた言葉だと言っています。言葉の成り立ちは面白いですね。そういえば「たそやあんどん」と言いますね。「誰哉行灯」と漢字で書きます。「そこ行くのは誰？行灯」という意味です。昔

の吉原の遊郭の店先に終夜ともされた行灯。店の前を通る男が判別できるようにと、ともされた灯りです。今風にいえば常夜灯(贅沢)。不夜城のごとき様子をうかがわせません。遊郭は別としてどこか風情のある言葉です。

また  
逢魔が



時という言い方がありません。これも夕暮時ですね。黄昏より早い時間でしょうか？魔物に遭いそうなとき。感受性の鋭い幼児子どもたちには、夕闇が迫ってきたらこの時間帯は、薄気味悪いものなのです。

人間がまだ未開・野蛮なころ、夜の闇は恐怖に満ちていました。彼らにとつては恐ろしい夜の前触れともいえる、夕焼けの赤い色は厭うべきものでした。赤い色に警戒心、恐れなどを結びつけるのは、この原始の時代の記憶による、と聞いたことがあります。真偽のほど

## ここ倶楽部 朝市

12月9日(水) 9:30~

- ・採れたて新鮮野菜
- ・花・野菜の苗
- ・ぬか漬け
- ・各種の美味しいお総菜もあり

お誘い合わせて、ぜひおいで下さい

は不明です。ご存知の方  
教えてください。

それにしても言葉の変  
遷は面白いですね。「やば  
い」は「よくない、あぶ  
ない」の意味でしたが、  
最近では、「とてもいい、  
素晴らしい」の意味で使  
われるそうです。

素晴らしい、の意味も  
昔は「よくない、ひどい、  
とんでもない」というこ  
とだったそうです。ちょ  
っと信じられませんね。

## 色々な月

寒くなって、空がきれ  
いに澄んできました。朝  
の散歩の時にも、富士山  
が遠くにはっきりと見え  
ます。嬉しくなります。



富士山は  
やはり特  
別の山の  
ように思  
います。

明け方

の東の空はピンクや薄紫  
のグラデーションが自然  
の芸術を生み出してしま  
す。思わず見とれてしま  
います。

昨年の冬にはこの私の  
お気に入りのビュースポ  
ットで、毎朝、日の出を  
見ながら缶ビールを呑ん  
でいるお爺さんがいまし  
た。けっこう冷たい空気  
の中で、冷えるだろうな  
でもうまそうだな、と思  
って見ていました。今年  
はまだ見かけませんが、  
元気であるでしょうか。  
ちょっと気  
になります。



きょう十二月九日は旧  
暦では十月二十八日です。  
暦によると明日は十月の  
最後の日です。明後日は  
十一月一日。今は新月ま  
じかですので月明りは殆  
んどありません。旧暦は  
月齢が示されるのでいい  
ですね。

朔日（ついたち）の朔  
（さく）は新月のこと。

十五夜に向かつて月は  
徐々に満ちていきます。

三日月に願いを託すと、  
やがて満ちて願いがかな  
うと信じた時代もありま  
した。三日月を国旗に使  
ったり、戦国武将が兜に  
つけた理由とか。

あの

菓子パ

ンにク



伊達政宗 兜

ロワツサン（三日月）と  
命名したのも自然です。  
十五夜の翌日は十六夜  
（いざよい）。月の出るの  
が少し遅れ、月が躊躇っ  
ている（いざよう）よう  
なので、十六夜というそ  
うです。

月は毎日五十分ぐら  
い遅れて出るようにな  
るので、十七夜は立って  
待っている、立待月、次  
が居待月、寝待月と続  
きます。寝て待っていない  
と大変だ、ということ。

とにかく昔はろうそくや  
油は高価でしたから、夕  
食は日暮れ前にとつて  
ました。テレビもラジオ  
もないので、ひたすら月  
を待っていたのでしょ  
うか。待っている間にほん  
とに寝入っちゃうことも  
あったでしょう。

二十六日ごろになると  
有明のころに月が輝くの  
で有明の月。三日月を逆  
向きにした形です。



◆ 11月5日 旅行のおみやげ

一昨日、昨日と毎年恒例の一泊旅行。今年下呂温泉と郡上八幡。介護保険外の旅行なので参加されなかった方もいましたが、お天気にも恵まれ、楽しく行ってきました。郡上八幡では食品サンプルの海老の天ぷら、野菜の天ぷら、レタスのサンプルを作って家族にお土産に。「お父さんにお土産!って渡したらお腹いっぱいだから明日の朝食食べるって。騙されただよ」と大笑い。サンプル屋の方に「大丈夫ですか?」と心配されましたが、皆さん、本物と間違えるくらい上手に作れました。またひとつ、旅の思い出ができましたね。

◆ 11月11日 覚えてたの?

得意なことは何かと聞いたら、男性の一人が「料理を作ること!」と言った。全員が声をそろえて、「へえ~知らなかったやあ」と言う



「だって、初めて言うんだもん」。「じゃあ、今度作ってもらわにゃあいかんね」「私ら、腹減った、腹減った、飯だ飯!って、机を、バンバン叩いて出てくるの待ってるで」

実は、この話にはマエがあって、先週、昼食の前に、口腔体操でいつもの早口言葉の代わりに、「バンバンバン(机を叩いて)腹減った。バンバンバン(机を叩き)腹減った。飯だ飯!飯だ飯!」と復唱したのだ☆。それを、どうやら覚えていたらしい。普段、いろんなことを、すぐ忘れる人たちなのに、どうして、そんなお行儀の悪いことばかり覚えてるのかしら…。ごめんなさい。家では、していないことを祈ります。

◆ 11月18日 おいしかったね

今日のお昼は、ぶりの刺身とあらの煮たの。御前崎の沖で釣ってきたと、近所の方から差し入れ。しかも、さばくのもしてくれて、私たち、食べるばかり。お年寄りも、意外とあらの煮たのが好き♪「何十年ぶりかしら」と、骨までしゃぶってしまいました。最近の若い人は、あらを煮ないし、食べないんだって。だから、家では、出ないんだ



◆ 11月25日 黒豆

畑で採れた黒豆。男性の方が大粒のきれいな豆と小粒の豆と整理しながら、さや

から出す作業をして下さいました。たくさんやって下さったのでお礼を言ったら「張り切ってやったので腹へった」「いい黒豆だなー」とおっしゃって、お昼はごはんおかわりされました。

◆ 11月28日 餃子!



みんなで餃子を作り、目の前で焼いて、食べました。な・な・なんと!包んだのは152個。それを、15人で食べきりました。「私は、もういいわ」と3個の人から、「おいしいね、おいしいね♪」と15個食べた人まで…。餃子の消費量全国一に貢献できたかしら^^;

◆ 11月30日 屋外歩行

寒くなりました。「今日は風がないからお散歩に行きましょう」と声をかけたら「寒い中にいるー」って何人かの方が出るのをいやがりました。でも「行こう、行こう」ってお誘いし、みなさんと芳川公園へお散歩に行きました。「わー!きれいな空」「気持ちいいねー!」「来てよかったねー!」 本当に来てよかったですね。

